

次の、おいしさへ。 JAめむろ

夢あふり

2025. **1**
vol. 617

トップニュース
写真で振り返る2024

JAめむろ
Instagram



JAめむろ
HP



あけまして

おめでとうございます。

新春を迎えまして皆様のご多幸と
ご健康をお祈り申し上げます。



新年を迎えて

芽室町農業協同組合

代表理事組合長 廣江 英幸

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、令和7年の新春を穏やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、日々の営農と併せ、地域農業の振興や農協事業の発展に向け多大なるご協力をいただいていることに、改めて感謝を申し上げます。

さて、本年は干支でいうと、乙巳（きのと・み）の年であります。巳年はヘビが脱皮することから「復活と再生」を意味するため、新しいことが始まる一年だと言われています。また、古くから神の使いとされ、その強い生命力にちなんで豊穡や天候を左右するものとして厚い信仰を受けてきました。干支の諺のように、今年一年が天候に恵まれ、皆様の努力が報われる年となることを心より願うものであります。

昨年の本町農業を振り返りますと、雪解けも早く春の農作業は順調に進みました。4月、5月と干ばつ気味の天候の中、少量ながらも雨もあり発芽も良く順調なスタートとなりました。その後6月から7月にかけても好天が続き、どの作物も生育は前倒しとなりました。小麦については平年より一週間早く収穫も始まり、反収10.3俵、全量1等Aランクと、幸先の良い収穫スタートとなりました。しかしその後、8月になり周期的な降雨により高温多湿な気候となり、前年ほどではありませんが馬鈴薯、てん菜においては、低ライマン価、低糖分となりました。豆類においても小豆は高温の影響から小粒傾向となり、品質は良かったものの収量が思うように伸びませんでした。一方、大豆は過去最高の収量を記録するなど同じ豆類でも収量には大きな差が出た年となりました。野菜類では、かぼちゃで日焼けの影響から収量を落としましたが、ごぼう、長芋などは収量、品質とも良い結果となり、畑作部門の粗生産額は279億となり過去最高となりました。しかし経営の中身を見てみると、肥料、農薬、段ボールなど生産資材の高止まりから、前年同様豊作感が実感できない年だったのかなと思います。

酪農畜産部門では、コロナ禍以降生乳は生産調整にありましたが、4月より増産へ舵が切られました。JAとしては、疲弊した生産現場の早期回復に向けて乳牛導入の奨励対策を打ち、その効果もあり前年対比で101%を維持している状況です。肉用牛については、消費の低迷から、回復にはいまだ至ってい

ない状況ですが、畜産部門の粗生産額は103億円となり、耕種・畜産合わせた芽室町の農業粗生産額は382億となりました。第9次の5カ年計画では、「安定した粗生産額（348億円）」を掲げていますが、前年に続き上回ることができました。これもひとえに組合員皆様のたゆまぬ努力と研鑽のたまものと、感謝を申し上げるしだいであります。

農業を取り巻く情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻など長期化する戦争不安により、飼料、肥料、燃料などの価格高騰や円安の進行もあり、農業経営に大きな影響を与えております。また、国内においては、働き方改革や輸送業者の2024年問題、食料品をはじめとする物価高騰の影響により、消費者の購入意欲が低下し消費の回復が鈍化している状況です。

昨年、食料安全保障の確保などを目的として、25年ぶりに食料・農業・農村基本法が改正されましたが、世界の食料需給が不安定な時だからこそ、国産農畜産物での食料供給が見直される時だと考えています。我々農業者の使命は、安心して安全な食料を安定的に消費者に届けることですが、経営者としては少しでも生産コストを下げるための努力も必要です。今一度経営を見直し、異常気象などのリスクに備えるよう所得の確保をお願いしたいと思います。またJAとしても系統を通じて、食糧安全保障の重要性や、再生産可能な農畜産物価格に対する合意形成を図ることの必要性を訴えていきます。

さて、今年の総会においては、女性理事3名を含む新役員の選出をいただきましたが、選出に当たっては組合員のご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。理事会においても、女性の視点からの意見や気づきをいただいております。

本年は第9次芽室町農業振興5カ年計画の3年目となりますが、重点目標である「農産物の販売強化」「労働支援体制の拡充」「良質粗飼料の安定生産」「多様な意見の事業運営への反映」と農業所得2,200万円の達成に向け、組合員とともに邁進してまいります。

あわせて「協力一致」の理念のもと組合員の経営と生活を守り、よりよい地域社会の実現を目指して事業推進いたしますので、皆様のご協力をお願いいたしますとともに、今年一年が笑顔で豊穡の秋を迎えられることをご祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

J Aめむろ 青年部部長 阿 部 巧

青年部の皆様、ならびに組合員の皆様に慎んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より青年部事業に対しまして、ご家族、関係者の皆様にはご理解とご指導、ご協力をいただいておりますこと、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年、芽室町農業を振り返りますと、干ばつ気味ではありましたが概ね春耕作業は順調に進み、作物の生育も早く、小麦をはじめ作物の多くが平年より前倒しでの収穫となりました。極端な天候により影響を受けた作物もありましたが、台風などの大きな被害はなく、平年並み以上の作柄は確保できたものと思います。

酪農部門では乳価が引き上げられ、生乳増産に向けた対策が打たれるなど、疲弊した現場の回復に向け舵が切られました。

農業情勢につきましては、食料・農業・農村基本法が25年ぶりに改正され、食料安全保障が基本理念

として位置付けられました。しかしながら、依然として世界情勢による肥料や飼料、資材、燃料の価格高騰と長引く円安は、農業生産に大きな影響を与えています。

このような状況だからこそ、日本の食を担う農業者として高い志を持ち、「食と農」の価値を消費者に伝えるとともに、安心・安全な農畜産物を提供していかなければなりません。日々変化する情報を見極め、柔軟な発想と高い行動力をもって現状を乗り越えてこそ、明るい農業が次の世代に繋がると信じております。

今後とも青年部事業に対しまして、より一層のご理解とご協力を賜りますとともに、組合員の皆様をはじめ、J Aならびに各関係機関のご指導を重ねてお願い申し上げます。

結びになりますが、本年も組合員ならびにご家族の皆様方が益々ご健勝でありますとともに、天候に恵まれ、昨年以上の豊稔の出来秋を迎えられますことをご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

J Aめむろ 女性部部長 長 山 和 枝

女性部の皆様、ならびに組合員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、令和7年の幕開けを健やかに迎えられたことと思います。

日頃より女性部事業に対しまして、組合員の皆様、ご家族、役職員の方々のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、芽室農業を振り返りますと、春先の少雨や十勝らしからぬ夏の高温多湿の傾向は見られましたが、そのような気候の中でも小麦をはじめとした収穫作業は比較的順調に進み、全体的にはおおむね良い出来秋を迎えられたのではないかと安堵しています。

農業を取り巻く環境は、引き続き先の見えない厳しい状況です。

異常気象や海外情勢はもちろんのこと、農業資材や肥料、飼料の高騰、物価の上昇に未だ終わりの見えない新型コロナウイルスと我慢の日々は続いています。

昨年は25年振りに「食料・農業・農村基本法」が改正されましたが、私たち女性部が進む方向はこれまで通り変わることなく「命を支える、食と農の大切さ」を広く発信し、これからも安心安全なめむろ産の農畜産物を消費者へ届けたいと思います。

女性部上半期事業においては、平成30年以来の中堅道外研修をおこなうことができ、多くの部員の皆様にご参加いただきました。フレッシュミズ、もみじ会も含め各行事にご参加ご協力いただき大変感謝しております。

今年度は、女性部役員の選出方法の見直しという大きな課題を抱えています。部員減少に歯止めがかからない中ですが、毎年のテーマとして次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

今後も部員相互の交流を深められる活動と、参加・参画を目指した組織づくりに役員一同取り組んでまいります。組合員の皆様、J Aならびに関係機関の皆様のご指導を重ねてお願い申し上げます。

本年も組合員ならびに、ご家族の皆様が益々ご健勝でありますとともに、豊稔の出来秋を迎えられますことをご祈念申し上げまして、新年のご挨拶いたします。



謹賀新年

本年も良い年でありますよう、
心からお祈り申し上げます。

会 長 理 事 宇 野 克 彦
代表理事組合長 廣 江 英 幸
代表理事専務 堀 井 和 宏
常 務 理 事 道 場 琢 也
理 事 山 上 克 己
" 平 井 裕 文
" 片 岡 義 幸
" 児 玉 涉
" 山 口 誠
" 三 上 ますみ
" 大 道 まみ子
" 米 山 正 美
" 山 川 優 紀
" 野 澤 亮
" 村 瀬 雅 道
代 表 監 事 大 野 泰 裕
監 事 古 田 聡
常 勤 監 事 柿 川 明 則
他 職 員 一 同

芽室町小麦生産集団協議会
芽室町小麦採種組合
芽室町種馬鈴薯生産組合
芽室町加工馬鈴しょ生産組合
芽室町北海コガネ生産組合
芽室町食用馬鈴薯生産組合
芽室町澱原馬鈴しょ生産対策協議会
芽室町玉葱生産組合
芽室町ごぼう生産組合
芽室町長芋生産組合
芽室町南瓜生産組合
芽室町百合根生産組合
芽室町野菜出荷組合
芽室町野菜苗生産組合
芽室町枝豆生産組合
芽室町枝豆ハーベスター協議会
芽室きのこ会
芽室町にんにく生産組合
クノールスイートコーン耕作者組合
芽室町生食スイートコーン生産組合
芽室町寒玉キャベツ生産組合
AW アグリフーズテクノ株式会社芽室耕作者組合
芽室町ブロッコリー生産組合
芽室町落花生生産組合
JAめむろ馬鈴薯作業受託組合
芽室町てん菜作業受委託組合
芽室町酪農振興会
芽室町乳牛改良同志会
芽室町乳牛検定組合
芽室町肉牛振興会
芽室町養豚振興会
芽室町酪農ヘルパー有限責任事業組合
芽室町馬事振興会
めむろファーマーズマーケット運営協議会
JAめむろ青年部
JAめむろ女性部
芽室町畑作研究会
JAコスモスの会

会 長 児 玉 康 博
組 合 長 棚 瀬 陽 一
組 合 長 松 本 寿 一
組 合 長 大 谷 寿 仁
組 合 長 本 田 貴 洋
組 合 長 梶 谷 義 徳
会 長 藤 澤 哲 也
組 合 長 棚 田 英 和
組 合 長 太 田 貢 勉
組 合 長 小 山 一
組 合 長 伊 藤 雅 一
組 合 長 黒 田 繁 樹
組 合 長 村 中 祐 也
組 合 長 滑 川 弘
組 合 長 棚 瀬 陽 一
会 長 棚 瀬 陽 一
会 長 亀 谷 健 二
組 合 長 小丹枝 祐 典
組 合 長 土 屋 太 志
組 合 長 宮 田 克 宣
組 合 長 奥 野 純 也
組 合 長 末 吉 弘 明
組 合 長 松 久 正 人
組 合 長 藤 井 信 二
組 合 長 志 村 和 博
組 合 長 川 瀬 邦 雄
会 長 柏 葉 聡
会 長 鈴 木 賢
組 合 長 皆 川 賢 治
会 長 小 川 豊
会 長 佐々木 啓 隆
組 合 長 奥 村 紀 之
会 長 杉 田 富 雄
会 長 岩 間 崇 浩
部 長 阿 部 巧
部 長 長 山 和 枝
会 長 嶋 野 晃
会 長 前 崎 仁 美

写真で振り返る2024年の

主な行事・出来事です。
みなさんにとって去年はどんな年でしたか？



牛乳・乳製品消費拡大キャンペーン
ダイイチめむろ店において牛乳1Lパックを
500本配布 (1月14日)



地区別・女性農業者・青年部役員との懇談会
各会場あわせて組合員331名参加。令和6年
度事業方針について懇談
(2月5日、6日、7日)



総代研修会講演会開催
東京大学大学院 鈴木宣弘氏を招き「これからの十勝農業について考える」と題して
(2月8日)



元日本ハムファイターズ杉谷拳士氏が来所
自主トレーニングの食事面のサポートに「えだまめ 極」と「未来めむろうし」をトレーニング先の沖縄県伊江島へ届けました (3月8日)



第96回臨時総代会
総代280名（書面議決213名、委任状2名を含む）が出席
(3月19日)



農業後継者新規就農激励会
新規就農者8名が出席
(4月5日)



第29回通常総会

正組合員1,331名（うち本人出席213名、書面議決869名、委任状249名）が出席

（6月14日）



愛菜屋スイートコーン祭り

ゴールドラッシュなど10種類を販売。1,200本の茹でスイートコーンは2時間あまりで完売
（8月9日）



青年部「ばんえい夏まつり」に出店

めむろゴールドクラフト、えだまめ、ゆでとうもろこしを販売
（8月10日、11日）



第56回芽室町納涼盆踊り大会

ＪＡ畜産課による牛乳無料配布、ＪＡ青年部が出店。踊り子としてＪＡ職員、ＪＡめむろ青年部・女性部が参加
（8月17日）



地区別懇談会、女性農業者・青年農業者との懇談会開かれる

各会場あわせて組合員224名参加
（8月19日、20日、21日）



愛菜屋収穫感謝祭

野菜の詰め放題や豚汁販売、えだまめ「極」の試食販売などを実施
（10月13日）



めむろ大感謝祭2024

マチルダ詰め放題や豚汁販売などをおこない、多くの方が来場し大盛況で終了
（11月23日）

第1回全国冷凍野菜アワード 十勝めむろえだまめ『最高金賞』受賞

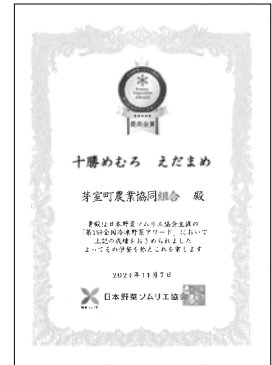
国産冷凍野菜の魅力を広めるため、日本野菜ソムリエ協会と冷凍食品PR連盟の主催による、第1回「全国冷凍野菜アワード」が開催されました。

その中で、「十勝めむろ えだまめ」が最高位の『最高金賞』を受賞しました。

11月19日、東京都内で表彰式がおこなわれ、農協を代表し堀井専務が出席し、「今までの努力が評価されて嬉しい。この喜びをいち早く生産者の方々に報告したいと思います」とコメント。

審査委員長からは、「試食審査会場でも、審査員の皆さんのリアクションがとても良かったことを印象的に覚えています。まず評価が高かったのは、「シンプルに味が美味しかった」ことだと思います。枝豆本来の旨み、甘みをしっかり味わうことができ、それを損なわないように塩味が控えめにしていることが、高評価でした。生産者と工場が一体となり、収穫から加工まで4時間以内で完結させる体制がこの美味しさを実現できていると思います」と評価をいただきました。

今回の受賞を機に、さらなる販売に努力してまいりたいと思います。



フォトコンテスト表彰式

12月9日、フォトコンテストの表彰がおこなわれ、堀井専務から表彰状と副賞が手渡されました。



特賞作品「秋虹」
撮影者 栗野秀明さん



(左より、堀井専務、栗野秀明さん、前崎仁美さん、吉田真弓さん、宗宮 曠さん)

今月の夢あじ

- P 3 新年を迎えて
- P 6 写真で振り返る2024年
- P 8 第1回全国冷凍野菜アワード十勝めむろえだまめ『最高金賞』受賞
フォトコンテスト表彰式
- P 9 「JAめむろ 秋のまちなか演奏会」を開催しました
JA YOUTH(青年部情報)
- P 10 JA女性部(女性部情報)

- P 11 全道から約3,000名が集結し第31回JA北海道大会が開催される
農薬の早期取りまとめのご案内
- P 12 令和6年産 馬鈴しょ情勢
- P 14 令和6年度 試験成績概要
- P 15 経営分析の申し込み受付中!
- P 16 農協法交付記念集会
理事会だより
- P 17 芽室町からお知らせ
- P 18 JAグループ北海道の農政活動強化に向けて
- P 19 連載 JAの基礎
- P 21 芽室町農協史
- P 22 年末・年始の事故など連絡先のご案内

「JAめむろ 秋のまちなか演奏会」を開催しました

11月9日、芽室町中央公民館大ホールにて、芽室高校吹奏楽部による「第2回JAめむろ 秋のまちなか演奏会」を開催いたしました。

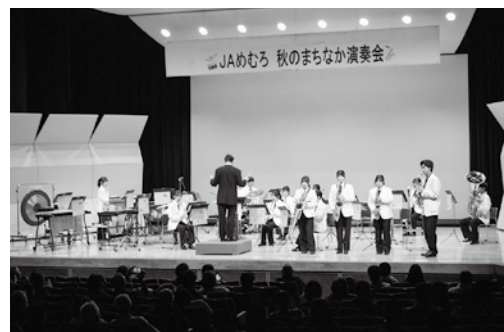
2年ぶりの開催となった本演奏会には、年金友の会の皆さまのほか、幅広い年代の地域の皆さま約400名にご来場いただきました。

演奏会では、吹奏楽のための「エール・マーチ」からはじまり、迫力ある演奏で会場を盛り上げたあと、「名探偵コナンメインテーマ」や「キセキ」など、親しみある曲を披露していただきました。

アンコールでは、ドラマ主題曲でもある「スターラブレイション」を演奏、自然と大きな手拍子が起こり、会場は大いに盛り上がりました。

演奏会終了後、来場された皆さまからは「初めて参加したけど楽しかった」、「毎年開催してもらいたい」、「若い人が頑張っている姿を見ると元気がもらえる」など、多くの声が寄せられました。

「芽室農協年金友の会」では、会員の皆さまの充実した生活をサポートできるよう、各種イベントをおこなってまいりますので、皆さまのご参加お待ちしております。



芽室高校吹奏楽部による演奏

第49回 JA十勝青年部大会

11月25日、第49回 JA十勝青年部大会がホテル日航ノースランド帯広にて開催され、当青年部盟友71名が参加しました。

当青年部川東支部の十勝地区農協青年部協議会児玉勝俊副会長の開会宣言により大会が開会されました。

大会では、十勝地区農協青年部協議会平一真会長の開会挨拶後、各単組代表6名による「十勝地区JA青年部活動実績発表」、一般社団法人北海道プロデュース代表理事の中村真也氏による「十勝の農業から魅力ある未来へ」をテーマにした基調講演、「動画で発信！農の魅力」コンテスト、「純農 Boy 十勝地区オーディション」がおこなわれました。



児玉勝俊氏による開会宣言



中村真也氏による基調講演

第73回全道 JA 青年部大会

12月5～6日、第73回全道 JA 青年部大会が札幌パークホテルにて開催され、全道12地区から約800名の盟友が集い、当青年部から役員10名が参加しました。

大会では、「全道 JA 青年の主張大会」、「全道 JA 青年部活動実績発表大会」、「2024純農 Boy 北海道オーディション」、「動画で発信！農の魅力」コンテストなどがおこなわれました。「動画で発信！農の魅力」コンテストの当青年部作品は JA 本部事務所正面玄関の大型スクリーンに放映いたしますので、ぜひご覧ください。



フレッシュミズ西部ブロック交流会 美味しい料理を作りながら楽しく交流♪



手際よく調理を進める参加者ら

クリスマス料理7品目を作りあげました。完成後は、作った料理に舌鼓を打ちながら、仕事や育児のことなどの話をして交流を深めました。

次年度当番単組は、JAめむろとなります。

11月14日、新得町保健福祉センターなごみでJAフレッシュミズ西部ブロック交流会が開催されました。今回はJA新得町が当番単組で「調理交流会」が実施され、JAめむろ14名、JA十勝清水町5名、JA新得町7名の総勢26名の会員・事務局参加が参加し交流を深めました。

単組混合に班分けがされており、各班自己紹介、役割分担をした後、調理を開始。コミュニケーションを取りながら手際よく調理を進め、各班、ビーフシチューやティラミスなど、



完成した料理の数々

JA 十勝地区女性協議会 フレッシュミズ交流集会 「チーム対抗レクリエーション大会」で交流を深める



傘玉入れ

11月21日、農協連ビルでJA十勝地区女性協議会 令和6年度フレッシュミズ部会交流集会が開催され、当フレッシュミズ部員17名を含む、約108名の十勝地区の部員および事務局が集いました。

今年度は、「チーム対抗レクリエーション大会」がおこなわれました。参加者は単組混合の6チームに分けられ、十勝女性協フレミズ部会の役員が考案した「傘玉入れ」や「お絵描き選手権」などの5種目に挑みました。

どの種目も妊婦さんや運動が苦手な人でも楽しめる内容となっており、会場内は終始笑いが溢れ、他単組の部員とも交流をはかることができました。

十勝農村女性のつどい ～十勝の魅力は私たちの手で！～



参加した女性部三役

11月26日、十勝総合振興局で令和6年度十勝農村女性のつどいが開催され、当女性部三役が参加し、90名を超える女性農業者や関係者が集いました。

午前の部は、音更町教育委員会生涯学習課 食育・食文化プロデューサーの浦木明子氏より、「発酵する十勝～風土と歴史と人が育むもの」と題する講演があり、身近な発酵食品の紹介や、味噌は地域と世代をつなぐ最高の伝統食であることがありました。浦木氏の、4世代での味噌づくりや料理教室での出会いなどのお話も聞くことができ、参加者は興味深く聞き入っていました。

午後の部は、あおぞらネット活動紹介があり、目的別グループの活動紹介がされました。その後、グループトークをおこない、市町村混合のグループで女性部活動のことや仕事のことなど日々の情報交換をし、交流をはかりました。

全道から約3,000名が集結し 第31回 J A北海道大会が開催される

11月20日、第31回 J A北海道大会が札幌コンベンションセンターで開催され、廣江組合長はじめ J A 役員・長山女性部長・阿部青年部長が参加し、その翌日に役員による視察研修を実施しました。

J A北海道大会はW E B参加も含め全道各地から約3,000名が集結し、東京農業大学総合研究所 末松広行特命教授による「新たな食料・農業・農村基本法における北海道農業の目指すべき方向」と題した記念講演の後、樽井 功 J A北海道中央会会長の開会あいさつ、来賓より鈴木直道北海道知事から祝辞をいただいた後開催されました。将来ビジョンに掲げた『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』～ひとを育み、ひとと歩む～の実現に向け、議案第1号 食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立、議案第2号 J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立、議案第3号 農業・食・J Aへの理解醸成の3議案が採択され、組合員やJ A・連合会が自らの役割を認識したうえで一丸となり取り組みを実践していくことを決議しました。また、大会終了後にはJ A道北なよろ会長理事、ホクレン代表監事であり全国農業者農政運動組織連盟顧問に就任された東野秀樹氏を「励ます会」が開催され、J Aグループ北海道として支援の輪を広げていくことを確認しました。

翌21日はJ A北海道信連、J A北海道情報センターに訪問し役員視察研修を実施しました。J A北海道信連では宇野会長を表敬訪問後、J A北海道信連の経営理念や担う役割、現在計画的な更新をすすめている営業店システムの導入状況について研修しました。J A北海道情報センターでは十勝管内J Aの基幹システムが今後十勝農協連からJ A北海道情報センターへ段階的に移行していくことに伴い、組勘を中心としたシステムの概要について研修しました。



約3,000名が集結した J A北海道大会



J A北海道情報センターでの役員視察研修

農薬の早期取りまとめのご案内

本年も農薬の早期取りまとめをおこないます。併せて農薬直送大型規格の取りまとめも実施しておりますので、詳細につきましては同封いたしました取りまとめ用紙をご参照ください。なお、戸別訪問推進は希望者のみ同わせていただきます。購買課事務所において農薬個別相談を随時おこないますのでご利用のほど、よろしくお願いいたします。

戸別訪問推進の希望、その他ご相談、お問い合わせがありましたら購買課（TEL 6 2 - 2 9 0 9）
農薬担当：上林・中野・森川までご連絡ください。

こんにちは！
経済部です

令和6年産 馬鈴しょ情勢

食用馬鈴しょ

令和6年産食用馬鈴しょは、播種後の干ばつの影響から塊茎数は少なかったものの、その後の降雨により塊茎肥大は進み、収量は平年並みからやや良の結果となりました。

収穫時期においては、馬鈴しょ塊茎の変形や二次生長などにより作業が思うように進まない場面が多く見受けられました。このような状況のなか、本年の農協集荷実績は17,970トン（メークイン・男爵薯・とうや・マチルダ）となり、改めて厳選出荷頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

また、本年産の販売状況は、府県産馬鈴しょが不作であったことから全国的に出回り量が少なく、道

産早出し産地の出遅れも相まって、前進出荷開始時期の市況は高値をみせました。しかしながら、遅れていた出荷が始まるにつれ、各産地の出荷が揃ったことで出回り量が極端に増えたこと、市場着荷段階での品質懸念などにより、市況は下げの展開となりました。11月中旬から年末にかけては、本州消費地の冷え込みに伴い、煮炊き需要が高まったことで市況は上げの展開をみせました。

今後については、引き続き販売先と情報交換を密にし、系統との連携をはかりながら有利販売に努め、併せて貯蔵管理の徹底と厳選出荷に努力してまいります。

加工馬鈴しょ

本年産も良品質馬鈴しょを出荷いただき、誠にありがとうございます。

令和6年産加工馬鈴しょの取扱実績は、カルビーポテト(株)、(株)パイオニアフーズ向けを合わせて47,315t（前年比 5,198t 減）の取扱結果となり、収量については、多くの品種において平年を上回りま

したが、高温・干ばつによる品質への影響を大きく受けた結果となりました。

加工馬鈴しょについては需要が高く、増反要請もあることから、今後の作付については何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■令和6年産 カルビーポテト(株)向け加工馬鈴しょ取扱実績【受入数量】

※重量の値は、t未満の値を省略しております。

品 種 (件)	作付面積 (ha)	規格内品重量 (t)							規格外品重量 (t)	正味重量計 (t)	10a当収量正味重量 (kg)
		1 級	2 級	3 級	4 級	有色馬鈴薯	格下品	計			
ワ セ シ ロ (5)	6.39	174	0	0	0	0	0	174	7	181	2,833
ト ヨ シ ロ (119)	350.72	2,322	5,236	2,811	702	0	120	11,191	603	11,794	3,363
き た ひ め (42)	100.57	10	727	1,747	945	0	41	3,470	158	3,628	3,607
ス ノ ー デ ン (54)	215.33	167	1,373	4,044	3,533	0	224	9,341	236	9,577	4,448
ぼ ろ し り (123)	337.19	126	401	2,949	7,450	0	2,485	13,411	233	13,644	4,046
キ タ ム ラ サ キ (2)	5.22	0	0	0	0	191	0	191	30	221	4,234
ノーザンルビー (3)	6.93	0	0	0	0	240	0	240	3	243	3,506
R 6 年 実 績	1,022.35	2,799	7,737	11,551	12,630	431	2,870	38,018	1,270	39,288	3,843
R 6 年 比 率 (%)	-	7.12	19.69	29.40	32.15	1.10	7.31	96.77	3.23	100.00	-
R 5 年 実 績	1,087.28	2,843	7,320	12,144	18,740	710	318	42,075	1,954	44,029	4,049
R 5 年 比 率 (%)	-	6.46	16.63	27.58	42.56	1.61	0.72	95.56	4.44	100.0	-
R 5 年 実 績 対 比	▲ 64.93	▲ 44	417	▲ 593	▲ 6,110	▲ 279	2,552	▲ 4,057	▲ 684	▲ 4,741	▲ 206
R 5 年 比 率 対 比 (%)	-	0.7	3.1	1.8	▲ 10.4	▲ 0.5	6.6	1.2	▲ 1.2	-	-

＜ 等 級 別 実 績 表 ＞

＜規格品別実績表＞

＜その他等級外実績表＞



夢あこ 13

令和6年度 試験成績概要

芽室町農業再生協議会 クリーン農業推進委員会において、本年検討された課題についてお知らせします。
成果が認められた試験結果については、別に「試験成績書」として郵送しております（掲載欄○印のみ）。
ご不明な点は、農業振興センターまたはセンター主催の農業経営講座などでご質問ください。

作物名	掲載の有無	課題名	結果の要約
秋まき小麦	○	秋まき小麦（軟質）品種比較展示ほ	「北見99号」は「きたほなみ」と比較して、生育、品質、収量とも同等だった。品種導入に向けては、実需による製粉特性を確認中である。今回の調査では「北見99号」の品種特性であるコムギ縞萎縮病耐性については確認できなかったため、次年度再検討する。
	×	秋まき小麦（硬質）品種比較展示ほ	「北海267号」は「ゆめちから」と比較して、生育、収量、品質とも概ね同等であるが、一部蛋白含有率が低い傾向にあり、施肥対応の検討が必要と考えられる。普及性においては、製粉特性を考慮して判断する必要がある。
馬鈴しょ	○	生食、加工用新系統の地域適応性調査	新系統「北海113号」は「マチルダ」と比較して、ライマン価がかなり高くそうか病の抵抗性も見られたものの、小粒規格収量は少なく、石礫の多いほ場では二次生長による奇形塊茎が多く見られたことから、普及は難しいと考えられる。
	○	加工用品種「しんせい」の窒素施肥効果確認試験	「しんせい」の窒素施肥は、本年は土壌水分がかなり少ない状況にあったものの追肥前後の降雨により効果が見られ、基肥は標準施肥として追肥することが望ましいと考えられる。
	×	夏疫病防除薬剤の検討	夏疫病に対する「アミスター20フロアブル」の効果は、対象の薬剤と比較して、発生状況とその後の枯凋状況に差が見られなかったことから、判然としなかった。
	○	生食用馬鈴しょ「マチルダ」の種子予措効果実証	「マチルダ」の種子予措は、生理的齢200日℃程度にすることで、萌芽とその後の生育は揃い、茎数および塊茎数が多く、10a 当たり収量では優ることが実証された。
	×	加工用馬鈴しょ「しんせい」の栽植密度指標の検討	「しんせい」の栽植密度指標は、2022年と本年の結果から、「トヨシロ」を基準品種として補正することで整理した。
豆 類	×	衛星画像を活用した生育早晚判定の基礎検証	衛星画像による NDVI 値は、成熟期に近い時期の撮影データの場合、小豆では成熟期及び子実水分ともに関係性が見られたが、大豆においては判然としなかった。
	○	加工用馬鈴しょ打撲低減に向けたハーベスタ設定の検討	傷および打撲の低減に向けては、ハーベスタの第1コンベアの土量を確保することが最も重要で、その後のコンベアでの塊茎の流れを考慮すると、第3コンベア上での塊茎の滞留を無くすために作業速度を早くして塊茎の量を多くし、第3コンベアの回転速度は遅くしてスナッピングローラーでの衝撃を緩和することが望ましいと考えられる。
てん菜	○	褐斑病抵抗性品種の地域適応性調査	「カーベ8K839K」と「プロテウス」は、「カーベ2K314」と比較して、褐斑病の発病度が高いほ場では糖量で優ったため、有望な品種であると考えられる。ただし、「カーベ8K839K」は、根腐病の発生が見られたため、湿害を受けやすいほ場での作付は避けることが望まれる。

作物名	掲載の有無	課題名	結果の要約
な がい も	○	分肥時期の検討	ながいもの追肥は、収量及び品質を考慮すると7月下旬に窒素3kg/10a程度施用するのが望ましいが、この時期の追肥作業は茎葉が繁茂すると困難になるため、新たな追肥方法を検討する必要がある。
	○	分肥方法の検討	ながいもの追肥における無人航空機（ドローン）の活用は、茎葉が繁茂している7月下旬に省力的かつ均一に散布することができ、慣行区と同等の収量、A品率が得られていることから実用性が高いと考えられる。
ス イ ー ト コ ー ン	×	生食用新品種の地域適応性調査	新品種「SK9-002Y」は、「ゴールドラッシュ」と比較して優位性はみられず、現地導入は難しいと考えられる。
キ ャ ベ ッ	×	加工用キャベツ濃緑色品種の地域適応性調査	供試品種「恋舞」は、「おきな」と比較して収量性が劣り、裂球がみられることから在圃性は低く、また葉色についてもほぼ変わらないことから現地導入は難しいと考えられる。
飼 料 作 物	×	飼料用とうもろこしの受委託栽培モデルの実証	畑作農家が飼料用とうもろこしの栽培を受託する場合、畑作農家側の各種経費を試算すると最低4万円は必要と考えられ、酪農家側の収穫等にかかる経費は約1万円で合計5万円が見積もられた。サイレージとしてTDNの価値をみると、圧ぺんとうもろこしや配合飼料と比較して、30%程度安くなることから、畑作農家と酪農家の受委託栽培モデルは、酪農家の粗飼料確保と畑作農家の農業所得確保に寄与できるものと考えられた。
緑 肥 作 物	○	小麦後作緑肥の品種比較展示は	小麦後作緑肥として標準的乾物収量を確保できた緑肥作物は、えん麦普通種、ソルガム類およびアブラナ科で、えん麦野生種はいもち病の影響、ヘアリーベッチは生育期間が短く確保できなかった。栽培にあたっては、2カ年のいもち病の発生、被害を考慮すると、当面えん麦普通種かソルガム類、アブラナ科緑肥を選択することが良いと考えられた。しかし、草種により種子が小さいか、は種量が極端に少ないため、生育期間を50日程度確保することや精度の高いは種作業（ドリルは種）を行うことが望まれる。また、アブラナ科緑肥は、近隣に栽培しているアブラナ科野菜に、モンシロチョウ等の被害を与える場合があるので注意が必要である。

経営分析の申し込み受付中！

一年に一度、農場の健康診断をしてみませんか？

経営分析を通してできること

- ① 一年間の収入及び支出取引の振り返り（確認）
- ② 作物別所得の把握と比較
- ③ 我が家の経営の改善点把握
- ④ 家族間の情報共有

講座の参加申し込みはコチラから
<https://airrsv.net/ja-memuro-23bunseki/calendar>



【講座内容紹介動画（youtube）】

講座内容紹介 編

<https://youtu.be/6kloHApZZrE>



準備 編

https://youtu.be/So3t-fnj_oo



◇講座に関するお問合せ◇ 農業振興センター TEL：62-8311

農協法公布記念集会

11月19日に農業協同組合法公布記念集会を開催しました。

廣江組合長より、農協法公布から77年を迎え、農協は「農業者による農業者のための組織」であり、これから先も組合員をしっかりサポートしていきたいとの訓話をいただきました。集会後には、永年勤続表彰を実施しました。

永年勤続表彰者は以下の通りです。

勤続40年表彰

岩渕 智行（畜産部） 永原 繁樹（労働支援対策課）
西原 禎之（農産課）

勤続30年表彰

服部 昭久 (共 済 課)

勤続20年表彰

佐々木 洋介（食品販売部付 ジェイエイめむろフーズ業務課）
浅川 誠（青 果 課） 太田 小百合（青 果 課）

勤続10年表彰

矢野 麻里（宮農情報課） 五十嵐 涼（農 産 課）
小泉 麻未（購 買 課）



なお、各種試験合格者は農協職員資格認定試験をはじめ専門資格5分野にわたり、45名が合格しました。

理事会だより

第9回（11月22日開催）

- ・議案第1号 令和6年度半期開示ディスクロージャー誌について
- ・議案第2号 令和7年産カルビーポテト向け加工馬鈴しょ取扱要領に係る基準価格の改定について
- ・議案第3号 出資金の譲渡承認について
- ・議案第4号 利益相反取引に係る貸付について
- ・協議案1 L E D化工事の取りすめについて
- ・協議案2 太陽光発電設備の設置について

報告事項

- 1 主要なる内部及び外部会議の概要について
- 2 みのり監査法人の期中監査結果について
- 3 総代研修講演会の開催について
- 4 固定資産の取得について（本部事務所GHP更新）
- 5 マネロン等の防止にかかる対応状況について

- 6 令和7年産小麦の作付面積について
- 7 令和6年産小麦の概算払いについて
- 8 令和6年産原料てん菜概算金等の支払基準について
- 9 令和6年産原料てん菜概算払い単価及び概算金額について
- 10 令和5年産共計小豆の精算について
- 11 令和6年産食用馬鈴しょ概算金の支払いについて
- 12 令和6年産農畜産物生産見込みについて
- 13 令和6年度10月末哺育育成預託事業稼働状況について
- 14 組合員の加入・脱退状況について
- 15 特定・要改善組合員の営農計画見直しについて

今回の理事会は農協青年部員の傍聴のもと開催されました。

有害鳥獣通報システム運用開始

ヒグマの目撃や農作物の被害状況に関する情報について、お手持ちのパソコンやスマートフォンから通報できるシステムの運用を開始しました。現場写真のデータを添付し、位置情報を入力の上、情報をお寄せください。下記のURL、QRコードまたは芽室町LINE公式アカウントの「メインメニュー」－「スマホで手続き」－「農業」から入力をお願いします。

■通報に関する注意事項

- (1) ヒグマの目撃などに関する情報は、必要に応じ、町民・関係機関へ情報提供します。
- (2) 詳細な状況の確認のため、電話での聞き取り、現場の案内などをお願いする場合があります。
- (3) 有害鳥獣の駆除活動は、地理的条件などにより実施できない場合がありますのでご了承ください。

■有害鳥獣通報システム

URL <https://logoform.jp/f/JDK7T>

QRコード



問い合わせ先 芽室町農林課農畜産振興係 電話：62-9725 FAX：62-3757

アライグマ防除講習会を開催します

近年、生息数が増加しているアライグマの防除を促進するため、外来生物法に基づく「アライグマ防除講習会」を開催します。参加を御希望の方は以下に掲載しているQRコードもしくはURLより申し込みフォームにアクセスし、事前にお申し込みください。

この講習会を受講されると、芽室町内に限り、猟銃免許（わな猟免許）を取得しなくても、アライグマを捕獲することができます。また、箱わなをお持ちでない方への無料貸出しもおこなっておりますので、新たに箱わなを購入する必要はありません。

なお、従来どおり町による箱わなの設置・捕獲も継続して実施していますので、アライグマ被害でお困りの方は、お気軽に担当係まで御相談ください。

- 日 時：令和7年2月3日（月）10：00～12：00
- 場 所：芽室町役場庁舎2階会議室7・8
- 定 員：30名（先着順）
- 申し込み期限：令和7年1月27日（月）
- 申し込み先

URL <https://logoform.jp/form/FzdT/813624>

QRコード



問い合わせ先 芽室町農林課農畜産振興係 電話：62-9725 ✉ n-nouchiku@memuro.net

第23回めむろの恵みフェスタ開催のご案内

- 日 時：1月25日（土）
- 時 間：販売時間9：30～11：30 抽選会11：30～
- 会 場：めむろ一ど2階セミナーホール

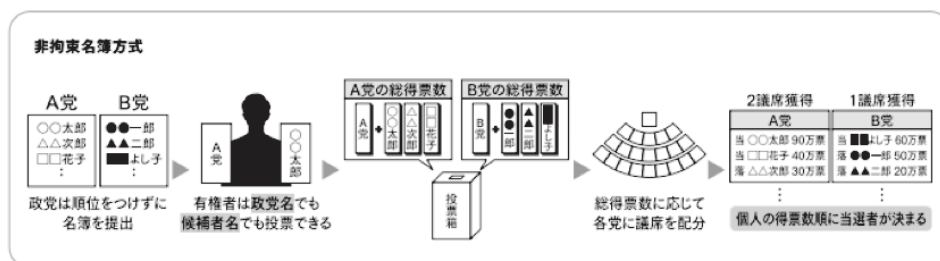
「あなたに届け！めむろの恵み、ふれ愛の心」をテーマに、芽室町の元気いっぱいの農村女性たちが日頃の活動をアピールします。農産物等の販売の他、試食や素敵な景品が当たる抽選会も実施します！

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位をする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要



です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。
次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会

第26回 協同組合と報徳 X

◆日本における総合協同組合の誇りと使命とは何でしょうか◆

＜次世代への事業継承が必要＞

戦後の新生協同組合を創り、多くの困難の中で、協同組合と歩んできた世代が引退の時期を迎えています。新たな世代は高度経済成長を経て、比較的経済の安定した時代に入ってから生まれた世代です。オイルショック時のような物不足が突然襲いかかった経験もない世代にとって、協同組合の意義を理解するのは容易なことではありません。それを理解するためには、協同組合というものの仕組みや理念といったものを知ることが必要です。

現在協同組合を担っている方々にも、もう一度原点に戻り、各種事業の理念を確認していただきたいと思います。

信用事業

資金不足にある組合員を助けるため、相互扶助の精神で組合員が貯金という資金を出し合います。

共済事業

災害にあった組合員を助けるため、協同組合に互恵基金として資金（掛け金）を積み立てます。

購買事業

組合員が安価な生産資材や生活用品を安定的に購入できるよう、協力して取りまとめ購買をおこないます。

販売事業

組合員の生産物を有利に販売するため、技術の高位平準化のための協同研修をはじめ、出荷施設や保管施設の共同保有、販売のための計画生産や共同出荷など協同活動をおこないます。

現在の私たちの経営と生活は、永い歴史の中で諸先達たちが苦闘の中で築き上げてきた日本型協同組合がもたらしたものです。困難な時代にあって、その協同組合を必死に守ってきた人々のたゆまない努力が今日の農業や漁業を築きました。この協同組合は私たち生産者や協同組合で働く者たちの「誇り」です。

一方で、成功をおさめてきた私たちの協同組合事業は、実は戦後培ってきた相互扶助精神や組合員の参加意識が土台となっているのです。もしかしたら、現在の私たちは先達たちが築き上げてきた協同組合の遺産を食い潰しつつあるのかもしれませんが。相互扶助の精神を次代に繋ぐこと、自助・自立の力で協同組合を前進させることこそが、将来の子どもたちに遺す最大遺物であり、私たちの「使命」と言えるのではないのでしょうか。

(H27.10.15発行 北海道報徳情報別冊36号より一部抜粋)

今日の進展の基礎であつたことを示している。

(二十四年三月三十一日現在)

土地(一六九五九件) 五一、八二五、二三銭
建物(農業倉庫外八八棟) 一、五二五、七二八、七五
諸設備 四、五七七、三三三、八〇
備品 七三五、二八八、五四
計 六、八九〇、一五六、三二銭

これを今日の価格におきかえたら、いくらにならうか。膨大な先人の遺産だつたといわねばならない。

生命共済一件二千円以上十万円以内

養老共済是一件五千円以内とする

家屋共済 第一部(全戸)は一株当り三千円以下

第二部(各戸)三千一円以上二万円まで

であつた。

ところで二十四年度からは予算のツジツマを合せるばかりでは進展がのぞめぬとして、事業計画にやや計画性が加味されてきた。

まず農業経営の合理化を目標とし、労働力の科学的配分生産手段として共同作業の奨励が行われることになった。実施方針として、部落協同組合の結成をすすめ、作業稼働力の合理的配分を指導する。部落に機械力を貸与する。このため動力トラクター四、動力デスクハロー四、動力デスクプラオ四、動力プラオ(三枚刃)四、トレラー四、などを準備した。農地の配分配合、つまり輪作作付共同作業により耕地の配分配合の交換、また共同採種圃の経営、共同防風林の計画化、共同防除体制など、すべて共同化の徹底を図ることにした。一方畜産部は第一期五カ年畜牛増殖計画を樹て、二十八年までに、三百五十頭を一千五百頭に、泌乳量二、三六九、七二石を一一、〇〇〇、〇〇石に

牡牛六頭を二十頭に。

とすること。ほかに酪農知識の普及や共同施設の強化など、それぞれ予算化したのであつた。

精神面においても、この年十二月四日東光寺で、松井、岩波、茂木三先達の感謝慰霊祭を挙行するなど組合精神の振興につとめた。まずこのあたりから農協の進むべき方向がやや見定められていったものといえよう。しかし戦後の社会、政治混乱はまだ続いた。

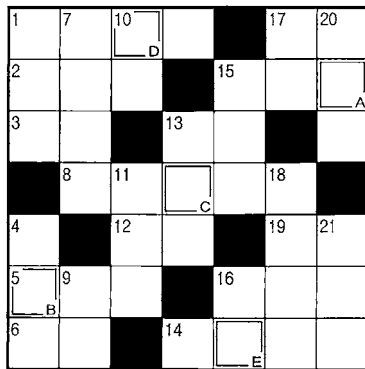
(二月号につづく)

パズル？ 頭の体操



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

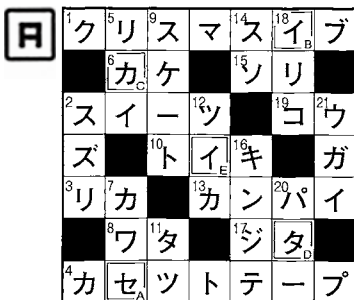
出題：ニコリ



※解答は2月号に掲載いたします。

12月号の
解 答

A B C D E
セイカタイ



ヨコのカギ

- 宝船の絵を枕の下に入れておくとよいものが見られるとか
- 窓を開けて取り込みます
- カード式のホテルもあります
- 中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- きねと臼でつくもの
- 「本の虫」と呼ばれることも
- 七草を入れて炊くことも
- 初詣で一年の——を祈った
- 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- マスカラを付けるところ
- 脊椎動物にはあります
- 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 耳が冷えないようにイヤ——をつけた



タテのカギ

- 年賀状をコレから SNS などに切り替える人も増えました
- サトイモの親芋のまわりにできます
- コートなどに用いる毛織物
- ここで話していても——があかないから見に行こう
- しんしんと降り積もるもの
- 箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- さんずい、うかんむりなど
- ほうきに乗って飛べるとか
- 10を3回かけ合わせると
- 縁起をかついで食べる受験生もいます
- おせち料理に入れる紅白の食材といえ
- チャールズ・チャップリンは——の王様です
- 可燃ではありません

解 答 欄

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

茅室町農協史

【本篇…茅室農協の十年】

連載 No. 50

総代会軌道に乗る

設立の年、昭和二十三年の第一回総代会は七月六日午前十一時十分から茅室小学校でひらかれた。

総代百三十二名出席。

賦課金の基準の改変が可決され、また借入金最高三千五百万円にかわった。一方農協連加入の件も審議された。

第二回臨時総代会は十一月十七日、百二十四名出席、「共済事業規約制定について」を審議、これを設けることを決議した。これが共済事業の発端である。

また、全国的に展開された「協組基礎確立運動」の実施も議案に上った。

すなわち

「収かく時をむかえ本格的活動をはじめ農協組について農民が自らこれを深い理解と関心をよせ、進んで運営に参加する運動を起し云々」

が、呼びかけの趣旨文で、十一月一日から三十日までの間、その前半を「理解をふかめる運動」として、組合員の増加運動と資金増発運動を行い、後半の十六日からは「基礎を固める運動」として、出資増口運動（目標二百万円）貯金の吸収（供出代金の吸収、長期貯金、納税貯金天引実施小切手貯金等）などを行うことになった。方法は、ポスターや懇談会、組合ニュースで理解を深めることにした。

また年度内一組合員に対する貸付最高限度を変更して、有担保十万円（旧五万円）無担保五万円（三万円）

さらに「設備拡充計画案について」

榨油工場ボイラー取替、専用線設置の費用として五十万円追加（計二百万円）

ついで資金計画、収支予定計画を議題として論議。協議事項として「デンプン工場設置について」第二精穀工場を変更するなどがきめられた。

この頃の食品加工花形時代を物語るもので、食用油、デンプンは、発足早々経営難の農協を支えた大きな利用事業であった。

支所からは「雑穀輸送協力について」の依頼などもあったが、まだ自動車の少ない時代であった。

二十四年に入ると五月五日に通常総代会がひらかれ、百四名出席。

井上善司氏議長、松久秀雄氏副議長となり、借入最高限度八千万円、貸付金最高限度有担保十五万円、無担保八万円と変更。役員の報酬も、組合長年俸六万円、副組合長八万四千円、理監事一万二千元に改められた。インフレに追いつくために猫の目のように変るという有様なのだ。

二十四年度資金運用、収支計画、施設計画の検討も行われ賦課金も一反につき七円五十銭はじめそれぞれ基準があらためられた。

協議事項として問題の貯金吸収について論議されたが、趣旨はつぎの通りで、当時の組合資金問題がいかに苦しかったかがうかがわれる。

「大蔵省では金融政策を根本的に改変すべく目下これが試案をGHQに提出し検討中である。

信用統制法案によると市中銀行は毎月の預金残高の一〇％を貿易手形配給手配、承認手形に二〇％を輸出産業、重点産業の設備資金に充当すべく優先確保しなければならず五％を日銀に預入れることになるわけで、農業に対する市銀の融資は全くのぞみない。

農手の融資についても日銀優遇手形としての取扱いが外されるかも知れぬ状態で国家財政の引締めがいかにきびしいかがわかるのである。

二十四年度農復資金としても関係機関の運動により辛うじて援助見返り資金より融資されるのではないかとという段階にあり、前途多難である。

結局自立自営の外なく、経済団体である我々の協組の金融体制を樹立しなければ当面の逼迫せる農村経済を突破出来ない。

互いにかんばつて組合貯金吸収に努力し、また出資金、賦課金についても、昨年二月、皆様の総意にもとづき本組合は全国に冠たる基礎堅実なる組合として設立され、その資本金も七百万円全額払込みをもつて出発、しかし諸種の関係にて払込額を一部貸付として経費に対する賦課金もよくやつてくれたが、いかなながら一部組合員の未納があり八万一千七百八十円の出資金、また貸付金は二十四万二千八百五十円の未払いとなつてゐる。

加えて皆様の要望により施設強化資金として二百万円の増資もまだ二十九萬九千円しか払込みなく運営上きわめて困難を来たしてゐるのであります。どうか総代の方々も側面的にこれが推進を云々」

計画時代に入る

ただ注目すべきは切年度の二十三年度決算にあらわれた固定資産の内訳で、四つの産組と農業会さらに農協と姿はかえたが、他に比をみないガツチリとした内容は

年末・年始の事故など連絡先のご案内

2024年12月31日（火）～2025年1月5日（日）の
期間は休業いたします。

※1月6日（月）9：00～16：00営業。

自動車事故などの場合



24時間
365日受付

J A 共済事故受付センター

TEL : 0120-258-931

▶夜間休日現場急行サービス

J A 共済より業務委託を受けた A L S O K の対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞取りなどをおこないます。

▶夜間休日初期対応サービス

初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応をおこないます。

▶休日契約者面談サービス

J A 共済より業務委託を受けた休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご相談におこたえします。

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合



24時間
365日受付

J A 共済サポートセンター

TEL : 0120-063-931

▶レッカーサービス

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場まで、現場から100km 以内でお車をけん引します。※ご契約の開始時期・車種によって対象外となる場合があります。

▶ロードサービス

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能な、お車の応急対応をおこないます。



レッカーロードサービスについて、ご自身で手配した場合は無料サービス対象外になる場合もございますので、無料サービスが必要な際は必ず上記 J A 共済サポートセンターへご連絡をお願いいたします。